

公募公告

令和8年7月7日

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

イノベーション戦略部長 杉本 雅樹

(住所) 千葉県千葉市稲毛区穴川四丁目9番1号

下記のとおり公募します。

1. 公募に付する事項

(1) 件名

バイオマーカー測定に供する抗体創製研究

(2) 内容

別添共同研究計画書のとおり

(3) 履行期限

令和9年2月28日

2. 公募に参加する者に必要な資格に関する事項

(1) 公募参加資格

国もしくは機構の競争参加資格を有すると認められた者とする。なお、機構の競争参加資格の認定を受けていない者であっても、参加意思確認書を提出することができるが、その者が応募要件を満たすと認められ、競争的契約手続きに移行した場合に技術提案書等を提出するためには、技術提案書等の提出時までには、当該資格の認定を受ける必要がある。

(2) 公募に参加できない者

競争に係る契約を締結する能力を有しない者及び破産者で復権を得ない者。資格審査申請書及びその添付書類に故意に虚偽の事実を記載した者等。

3. 応募要件

本件は、アセチル化 α シヌクレインに対するモノクローナル抗体に由来する遺伝子資材（抗体遺伝子およびその発現プラスミドDNA）の取得を通じて、当該抗体の機能評価および応用可能性の検討を行うものである。このため、以下の要件をすべて満たすことが必要である。

- **アセチル化 α シヌクレインに対するモノクローナル抗体の作製実績を有すること。**
特に、翻訳後修飾（アセチル化）を特異的に認識する抗体の取得に関する実績を有すること。
- **当該抗体の抗原認識特性（エピトープ）および特異性に関する知見を有すること。**
これには、非修飾型 α シヌクレインとの識別性に関する知見を含む。
- **抗体産生リンパ球から抗体遺伝子を取得し、発現ベクター（プラスミドDNA）を構築して組換え抗体を作製した実績を有すること。**
- **上記抗体に対応する発現プラスミドDNAを保有し、配列情報とともに提供可能であること。**
また、当該遺伝子資材の整合性および再現性に関する説明が可能であること。
- **当該抗体および関連遺伝子資材に関する研究実績（共同研究、論文発表又は特許出願等）を有すること。**
- **研究期間中、定期的な進捗報告および技術打合せに対応可能であること。**

4. 応募要件等を満たす意思表示

本公募に参加を希望する者は、3項に示す応募要件を満たすことを証明する資料を参加意思確認書に添付の上、以下の期限までに「6. 連絡先」まで、持参又は郵送（書類書留郵便等の配達記録が残るものに限る）により、提出すること。

上述の資料の様式は自由とするが、応募者の組織として意思決定が確認できる書類とする。

応募要件を満たす者があった場合には、機構は、応募要件の遂行能力を確認し、確認結果を書面にて通知する。

期限：令和8年7月22日（水）必着（郵送による場合も同様とする）

5. 備考

- (1) 応募がなかった場合には、特定の者と随意契約を行う。
- (2) 応募があった場合で、かつ確認の結果合格者があった場合には、企画競争により決定することとなる。その場合には別途公告する。
- (3) 手続きにおいて使用する言語及び通貨は、日本語及び日本国通貨に限る。

6. 連絡先

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川四丁目9番1号

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

イノベーション戦略部研究協力推進課 山本 裕貴

TEL : 043-206-3023 FAX : 043-206-4061

共同研究計画書

1. 共同研究件名

バイオマーカー測定に供する抗体創製研究

2. 研究目的

QST が開発中のヒト血漿中バイオマーカーを測定する際に使用する抗アセチル化 α シヌクレイン抗体を設計、作製する。

「精神・神経疾患に対する診断と治療の一体化」に該当する研究であり、認知症をはじめとする精神神経疾患の病態解明および治療効果に関する客観的評価法の確立に寄与するものである。

3. 研究内容

- (1) 抗体の作製、評価および選定
- (2) 選定した抗体の遺伝子配列決定
- (3) プラスミド構築
- (4) 総括

本共同研究は、研究の「成果物」を共同研究先機関から QST に納品された時点で完了する。本共同研究の成果物とは、抗体産生細胞や抗体自体ではなく、「抗体の設計図」すなわち抗体蛋白質の DNA 配列情報とプラスミドの情報である。本共同研究の終了後も、本共同研究で得られた成果物は QST に帰属する。

4. 研究実施分担

| 項目 | QST | 共同研究先機関 |
|---|-----|---------|
| (1) 抗アセチル化 α シヌクレイン抗体の作製、評価および選定 | ◎ | ◎ |
| (2) 選定した抗体の遺伝子配列決定 | | ◎ |
| (3) プラスミド構築 | | ◎ |
| (4) 総括 | ◎ | ◎ |

(◎：主担当)

5. 研究総括責任者

| | |
|---------------------------------------|------------------|
| QST 脳機能イメージング研究センター センター長 樋口 真人 | 共同研究機関 契約時に決定 |
|---------------------------------------|------------------|

6. 実施場所

- ・ QST：探索研究棟、画像診断棟、研究室 A 棟
- ・ 共同研究先機関：契約時に決定

7. 研究の実施期間

契約締結日～令和 9 年 2 月 28 日

8. 研究実施工程

| 項目 | 令和8年度 | | | | | | | | | | | |
|---|-------|---|---|---|---|---|----|----|----|---|---|---|
| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| (1) 抗アセチル化 α シヌクレイン抗体の作製、評価および選定 | | | | | → | | | | | | | |
| (2) 選定した抗体の遺伝子配列決定 | | | | | | | → | | | | | |
| (3) プラスミド構築 | | | | | | | | → | | | | |
| (4) 総括 | | | | | | | | | → | | | → |

9. 提出図書

共同研究の実施期間中に得られた研究成果についてとりまとめた報告書(2部)を作成し、各1部を保有する。

10. その他

貸与物件の有無 (有 ・ ■無)

11. 研究担当者派遣の有無

QST から共同研究先機関へ (有 ・ ■無)

共同研究先機関から QST へ (有 ・ ■無)

以上